

二中が優勝を飾る!

中学野球秋季大会

中学野球の習志野市秋季大会が10月23日から31日まで、第七中学校ほかで開催された。

3日間のトーナメント戦の結果、二中が優勝を飾った。大会は令和3年度習志野市中学校新人体育大会の代替大会として催された。

決勝戦は順調に勝ち進んだ二中と、特別延長の準決勝戦を制した四中との顔合わせとなった。初回、先攻の四中は3番山口が右前安打で出塁するが無得点。二中では、1番青木は遊ゴロだが、送球エラーで二塁へ。2番都丸は送りバントを成

団体戦 男子五中孝東邦中 中学校強化卓球大会

習志野市中学校強化卓球大会が10月30日と31日、東部体育館で開かれた。学校対抗の団体戦とシングルの個人戦が行われ、男子団体戦では五中、女子団体戦では東邦中が優勝を飾った。トーナメント戦による個人戦では、男子は二中の吉野瑛太選手、女子は東邦中の一色夏実選手が優勝を果たした。大会は令和3年度習志野市中学校新人体育大会の代替大会として催された。

男子団体戦優勝の五中の田中翔キャプテンは「大会で一番意識していたことは、誰かが負けても誰かがそれをカバーしていくことだ。



男子団体戦優勝の五中



女子団体戦優勝の東邦中



個人戦男子ベスト8



個人戦女子ベスト8

功させるが、3番大橋の三塁ゴロに飛び出した青木は捕殺。4番石井の右前安打で二死者一、三塁とするが得点できない。二中は2回裏にも、7番早川が内野安打で出塁し、9番花澤は左前安打だが、青木は外飛に終わる。

一方、四中は3回表、一死後、9番杉本が四球。1番中田は二塁ゴロで杉本は二塁へ。2番鈴木は打球は三塁線際のコロとなり、送球エラーの間に杉本がかえり、先制点を奪う。打った鈴木も二塁に進むが、後続は全くこの回は1点。

4回表の二中投手・青木は2回表に続き、四中打線を三者凡退に抑える。二中は安打で走者を出すのが得意で、山中も連打を許さない。1点を追う二中は4回裏、先頭の6番三井が左中間方向に長打コースの打球を放つが、四中左翼手・松元は守備位置良く、好捕。続く早川は中前安打で、8番中村がバントで送るが、後続なく、得点を奪えない。しかし5回裏、二中は先頭の青木が左越二塁打。都丸がバントで送ると、大橋は左翼の左を抜く、同点弾を放ち、試合は

振り出しに戻る。だが、四中は同点で迎えた6回表、先頭の中田は中前安打、続く鈴木は左前安打。送球もたたく間に、四中は無死者二、三塁と好機を迎え、一死後、捕逸で得点する。

6回裏、再び1点リードされた二中は先頭の三井が右前安打で出塁。早川は安打性の中飛だが、四中・中堅手の杉本が好捕し一死となる。しかし、続く中村は左中間安打で一死者一、二塁。花澤の内野ゴロで走者一、三塁の好機を迎え、青木の打席に、悪投球で三井がかえり同点。さらに悪投球で中村がスタート良く本塁を陥れ、2点目を奪い勝ち越す。最終回、二中・青木は連続三振の後、最後の打者を内野飛に抑え、二

中が逆転勝利した。優勝した二中の間嶋修平キャプテンは「1回戦から決勝戦まですべての試合で先制点を取られましたが、冷静にプレーできたことが優勝という結果につながったと思います。県大会でも一戦必勝でがんばりたいと思います」と話した。大会結果は次の通り。

▽予選Aリーグ
①五中②二中③四中④三中
▽予選Bリーグ
五中 3-2 二中

▽決勝リーグ
①六中②東邦中③七中④二中
▽決勝リーグ
五中 3-2 二中

▽準決勝戦
二中 9-2 六中
四中 10-1 東邦中

▽決勝戦
四中 0-1 0-0 1-0 0-0 0-0 1-2 X 3
二中 0-0 0-0 1-2 X 3

▽女子団体
①六中 3-2 五中
②二中 3-1 東邦中
③四中 3-0 六中
④東邦中 3-2 二中
⑤五中 3-1 東邦中
⑥六中 3-1 東邦中
⑦東邦中 3-1 二中
⑧二中 3-0 六中
⑨六中 3-1 東邦中
⑩五中 3-1 東邦中
⑪東邦中 3-1 二中
⑫二中 3-0 六中

▽男子個人
①吉野瑛太(二中)②高田瑞貴(二中)③中村和希(五中)④北川直樹(五中)⑤田中翔(五中)⑥大野光貴(七中)⑦松原虎太郎(七中)⑧稲田紳祐(七中)

▽女子個人
①一色夏実(東邦中)②福島瑠夏(五中)③白石真渚(二中)④高林ゆみ(二中)⑤神岡みも(一中)⑥亀田愛穂(一中)⑦玉井花和(五中)⑧永井梨沙子(東邦中)



優勝の二中

きょうこ先生監修 中学受験 合格手帳 2022

2022.1→2023.3

●定価:2,420円(税込) A5変形サイズ
●発行:朝日新聞社 販売:朝日学生新聞社

2021年12月9日発売

ASA(朝日新聞販売所)でお求めいただけます。
詳しくは 今解き教室e-shop

受験生ママパパに必要な情報を一元管理!